

日本インドネシア友好年への取り組みについて



(日伊友好年事業認定ロゴ：当社は、日本インドネシア友好年認定事業に協力しております。)

本年 2008 年は、日本とインドネシア共和国の国交樹立（1958 年）から 50 周年にあたり、「日本インドネシア友好年」として、日本およびインドネシア共和国において、両国の官民をあげて各種交流事業が実施されます。

当社子会社国際石油開発株式会社は、1966 年の設立以来、インドネシア共和国での原油・天然ガスの探鉱・開発・生産事業を実施しており、インドネシア産原油を日本へ輸出、また、インドネシアから日本への液化天然ガス（LNG）輸出プロジェクトに原料となる天然ガスを供給するなどの事業を展開いたしております。このように、同国は当社にとって非常に重要な事業地域となっており、当社といたしましても、下記のとおり、日本インドネシア友好年記念事業へ積極的に参加いたしますので、お知らせいたします。

記

1. インドネシア・日本博覧会 2008 への出展

インドネシア・日本博覧会 2008 のホール C（ともに歩もう館「50 年の実績、未来の 50 年」）に展示出展します。日本とインドネシアの過去・未来の関係が、当社の事業活動の観点から、エネルギー面等で非常に密接な二国間関係であることを紹介します。

※ インドネシア・日本博覧会 2008 は、日本経済新聞社およびコンパスグラメディアグループ（インドネシア）が、2008 年 11 月 1～9 日にジャカルタ国際見本市会場において共同で主催する日本インドネシア友好年認定事業

2. 奨学生支援事業への協力（日本インドネシア友好年認定事業）

財団法人インペックス教育交流財団は、1981年の設立以来毎年、インドネシア人の日本留学および日本人研究者のインドネシア留学を支援しておりますが※、2008年度には、日本インドネシア友好年特別記念枠を設け、インドネシア人5名および日本人2名の留学生支援を決定しております。当社グループは、この同財団の取り組みを財政面から支援いたします。

※ これまでの実績：インドネシア人の日本留学生96名、日本人研究者のインドネシア留学生35名

3. パネルディスカッション（交流行事）への協力（日本インドネシア友好年認定事業）

財団法人インペックス教育交流財団が、2008年11月に、インドネシア・日本博覧会2008の会場で実施するインドネシアおよび日本の留学体験者によるパネルディスカッション「日本およびインドネシアでの留学生活と両国の相互理解・協力の増進について」を当社グループは財政面から支援いたします。

以上